United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
UNESCO Associated Schools

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：２０１４年４月～２０１５年３月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、ＨＰ等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が２年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

１．学校概要

学校名　稲城第三小学校

種別　☐保育園・幼稚園　レ小学校　☐小中一貫教育
☐中学校　☐高等学校　☐中高一貫教育
☐教員養成　☐技術/職業教育
☐特別支援学校　☐その他（　　）

住所　〒２０６－０８０１
東京都稲城市大丸１００

E-mail：inagi3el0001@educet01.plala.or.jp

Website：http://academic3.plala.or.jp/inagi3el/

児童生徒数：男子２９４名　女子２７６名　合計５７０名
児童・生徒の年齢　６歳～１２歳

２．担当者　※公表しません

３．実施活動（複数選択可）

☐　地球規模の問題に対する国連システムの理解
レ　国際理解
☐　世界遺産
レ　平和・人権
レ　環境
☐　気候変動
☐　生物多様性
☐　エネルギー
レ　防災
☐　食育
レ　伝統文化
☐　そのほか（　　）

４．活動内容

（１）１年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

本校では、ＥＳＤ教育の主軸を人権教育に据えて、全教科領域で推進している。以下学年ごとに１年間の活動内容の一部を述べる。

1，2年生は道徳の時間に感謝の心やともだちのいいところなどについて考えた。

「感謝の心」で取り組んだ際の児童の感想。

・ちいきのみなさん　いつもあんぜんにまもってくれてありがとう。（1年）

・いつもおいしいきゅうしょくをありがとうございます。わたしはきゅうしょくのメニューがおいしくてすきです。（2年）

また、1年生は生活科の時間に地域の高齢者から伝承遊びを教えていただいたり、近隣の未就学児を招いて読み聞かせや遊びを一緒に行ったりして、交流を図った。

2年生は生活科の学習で地域探検を行い、地域のよいところをたくさん見つけることができた。

3年生は思いやり・親切について道徳の時間に学習し、親切にしたことやされたことを振り返り話し合った。

児童の感想

・ぼくは学校の帰りにおばあさんのにもつが重そうだったので、にもつを家までとどけました。そして、「ありがとう」と言ってもらいました。

また、総合的な学習の時間では、地域の宝物さがしを行い、古くから続いている地域の伝統行事、獅子舞について学び、自分たちの住む町に愛着をもつことができた。

4年生は、総合的な学習の時間に、視覚障害、聴覚障害の方たちからお話を伺い、また、自分たちも車椅子や白杖体験をして、障害のある方にどう接していけばよいのか、考えた。

5年生は、学級会活動の時間に、挨拶について考え、ミニポスターを作った。

児童の作品より

・あいさつは気持ちがよくなるまほうの言葉

また、総合的な学習の時間に、地球の環境について学習し、自分たちの住む地球の環境をよりよくするにはどうしたらよいか考えた。

特別支援学級4組では、高学年が低学年に読み聞かせを行い、低学年がお礼の手紙を書いた。

児童の手紙より

・なんかすごくよみかたがていねいで、すごくりかいできました。こんどはぼくがよみきかせをしてあげたいです。

また、児童会では、各学級で「クラスの宝物」を考えて発表した。「挨拶が上手」「元気」「団結力」などそれぞれの学級のよいところが沢山発表された。

6年生は、総合的な学習の時間に、1学期にハンセン病資料館を訪ねた。ハンセン病患者の方が、なぜいわれのない差別を受けたのか、ハンセン病患者の生活はどのようなものだったのかをパンフレットにまとめた。資料館での見学を通し、当時の人々の生活を間接的に体験することで、正しい知識がないことが原因であることに気付いた。資料館館長の平沢保治さんからはハンセン病患者者として受けた差別の話を聞き、差別は絶対にいけない、という思いを強くした。

3学期には平和についての学習を行った。平和とは何かを学習班ごとに話し合い、自分たちが考える平和についてまとめた。今も世界中で起こっている戦争・飢餓、貧困、暴力、児童労働、少年兵の問題。今なお続く原爆の脅威。自分たちの身の回りだけでなく、グローバルな視点で考えると平和とはいえない状況であることを知ることができた。学習を通して、平和な世界にするためには身近なところから争い、いじめ、暴力、けんかなどをなくすことが大切であると考えることができるようになった。

1年生から6年生まで、これらの活動を続けたことで、今年度の全国学力調査（6年生対象）では、「自分にはよいところがある」「学校に行くのが楽しい」「先生は自分のよいところを認めてくれている」等の項目で本校の児童は都や全国平均より高い数値であった。そして、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」に当てはまるとした子は94.4％で、都（80.3％）や全国（82.1％）平均と比べ、とても高い数値を示した。本校の日々の取組が児童の意識に表れた結果となった。

（２）活動時間について（下記から選択して下さい。）

レ　通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
□　時間外活動の時間を使用
□　ユネスコクラブの活動として実施
□　その他（　　）